

1 ナガサキアゲハの幼虫



ミカンなどの柑橘類の葉を食べるアゲハのなかまの幼虫は、敵をおどろかすために出す臭角（円）の色で種類を見分けることができます。写真はオレンジ色の臭角のナガサキアゲハです。

2 アカボシゴマダラの幼虫



ナメクジのような体つきと、頭に2本の角を持ち、エノキの葉で見つかります。アカボシというのは成虫（円）の羽にある赤い点をさしています。



3 ニイニイゼミ

木の幹や低い木の枝で見かけることがありますが、茶色のまだら模様が木の模様と溶けこみ意外と目立ちません。7月のはじめ頃から現在まで、オスの「ジー」という鳴き声が園内で聞こえています。

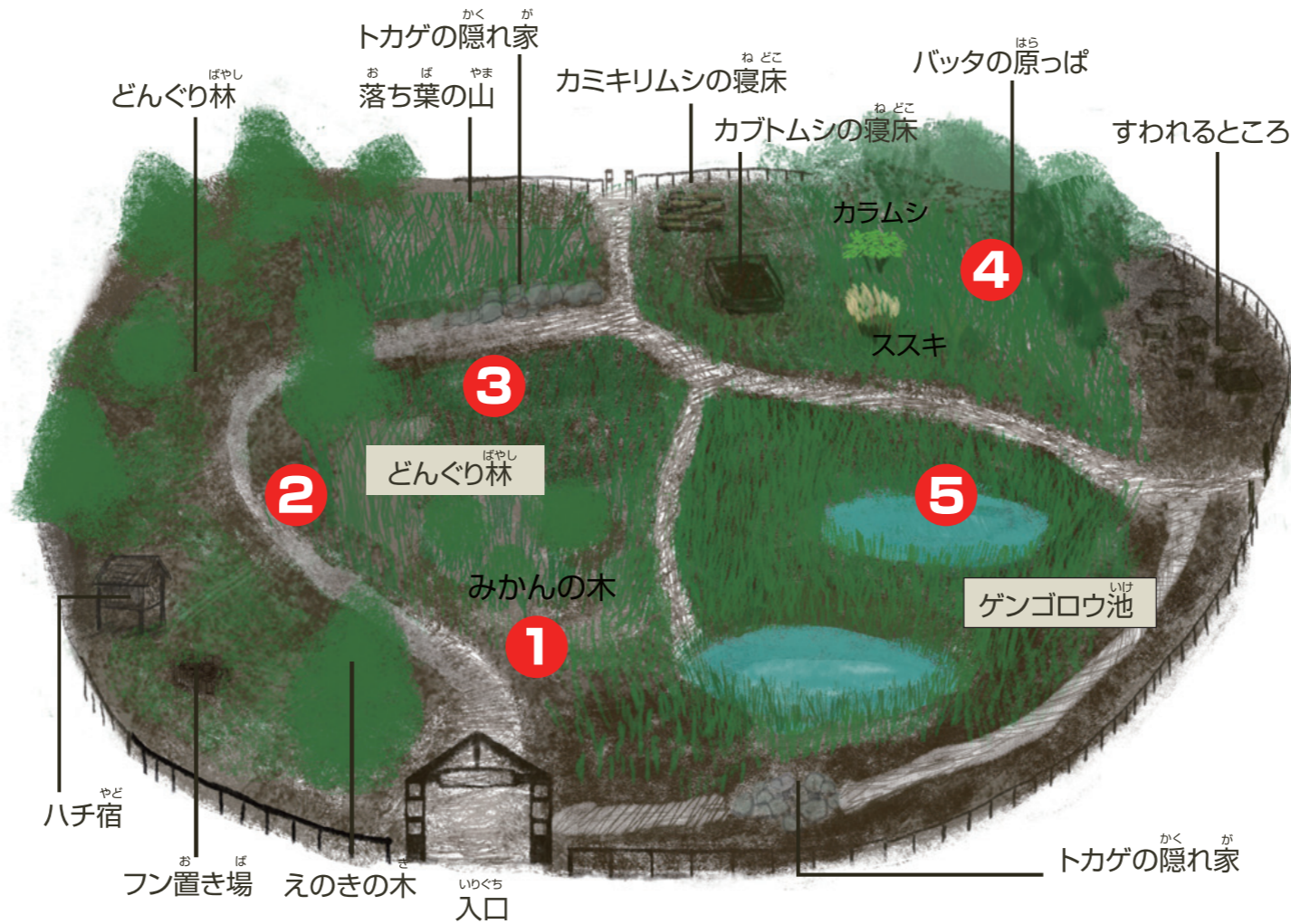


ニイニイゼミの抜け殻。表面に泥がついているのが特徴。

今週の

いきもの広場

いきもの広場は、動物園の中に作った「近所の自然」です。広場のなかには様々な環境や生き物と出会うための小さな仕掛けがたくさんあります。8月を迎え私たちにとっては厳しい暑さが続きますが、広場で見られるいきものの種類はいっそう多くなりました。



5 オオシオカラトンボのオス



青い色のオスと黄色いメスがくっついて飛んでいる姿を見かけるようになりました。メスが池に卵を産んでいる間、オスはすぐ近くを飛び回りペアのメスを他のオスから守ります。

4 カマキリのなかまの幼虫



エサになるバッタの幼虫が多くなりカマキリを見かけることも多くなりました。写真はハラビロカマキリですが、他にもオオカマキリやコカマキリがいます。

バナナトラップを設置しました

バナナに黒糖、お酒、イーストを混ぜて作った虫寄せのトラップを広場内に設置しています。その日どんないきものが来ているか、ぜひ確かめてみてください。

